

ヘリ事故を起こしたうえに、現場を封鎖、日本警察の現場検証も拒否

# 事故ヘリ持ち去り 沖縄・米軍の横暴を許すな



## 宜野湾市長の緊急抗議声明から

普天間飛行場の5年ないし7年の返還の約束期限もすでに過ぎており、早期に普天間飛行場の閉鎖全面返還をせよととも、日米双方による事故原因の徹底究明と住宅地上空の旋回飛行を直ちにやめ、ヘリ基地として運用の中止することを、日米両政府及び米軍に強く求めます。

平成16年8月13日 宜野湾市長 伊波洋一

沖縄国際大学も、各市町議会も続々と抗議決議をしています。ところが日本政府は、米軍の事故に抗議もしなければ、事故後の横暴も容認しています。政府の態度は、異常です。小泉政権は、国民の生命や財産よりも、日米同盟と米軍最優先の態度で、まともな主権国家とはいえません。

## 米軍優先 異常な小泉政権

事故は、市街地のご真ん中にある普天間基地の危険をあらためて浮き彫りにしました。大学をはじめ、保育所、学校がたくさんある密集地で、住民に死傷者が出なかつたのは、奇跡だといわれています。沖縄県民が、一刻も早い全面返還を求めてきた基地です。ところが日米両政府は、代替基地として名護市に米軍最新鋭基地建設を要求、そのために返還がすすんでいません。

## 市街地のご真ん中の基地

こんなことが許せるでしょうか。沖縄米軍の大型ヘリコプターが13日、普天間基地に隣接する沖縄国際大学構内に墜落しました。米軍は反省するどころか、事故現場を封鎖、日本警察の現場検証さえ拒否し、事故機を持ち去ってしまいました。これでは、文字どおり、日本はアメリカの植民地ではありませんか。事故原因の徹底究明、飛行訓練の即時中止、普天間基地の全面返還を要求して、声をあげましょう。